

動物実験責任者 各位

広島国際大学動物実験委員会

広島国際大学動物実験計画書の作成について

動物実験計画書は、実験責任者が作成し、広島国際大学動物実験委員会において動物実験が科学的および倫理的観点から適切なものであるかの審査を受け、学長から動物実験の許可をうけるためのものである。

動物実験は「動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律」（平成17年6月22日法律第68号）に明文化された動物実験の国際原則である3R（R e p l a c e m e n t : 代替法の検討、R e d u c t i o n : 最小使用動物数の検討、R e f i n e m e n t : 苦痛を最小限に止める実験方法の改善）の原則に則って立案され、申請されなければならない。

以下に、動物実験計画の立案に際して動物実験責任者が検討すべき事項を示す。

< 動物実験計画の立案時に検討を要する事項 >

- ・動物実験等の目的とその必要性
- ・動物実験等の不要な繰り返しに当たらないかどうか
- ・in vitro の実験系および系統発生的に下位の動物種への置き換えが可能かどうか(代替法の活用)
- ・より侵襲の低い動物実験方法への置き換えが可能かどうか
- ・使用する実験動物種ならびに遺伝学および微生物学的品質
- ・使用する実験動物の数
- ・動物実験実施者および飼養者に対する教育訓練の実績
- ・特殊なケージや飼育環境を適用する場合はそれが必要な理由
- ・実験処置により発生すると予想される障害や症状および苦痛の程度
- ・実験動物にとって耐え難い苦痛が予想される場合の苦痛軽減処置
- ・鎮静、鎮痛、麻酔処置
- ・大規模な外科的処置の繰り返しに当たらないかどうか
- ・術後管理の方法
- ・実験動物の最終処分方法(安楽死の方法など)
- ・人および環境等に影響を与える可能性のある動物実験等であるかどうか。該当する場合は、必要な措置および手続き等
- ・動物実験実施者、飼養者の労働安全衛生に係る事項

未知の課題に対する新しい動物実験等においては、実験方法の設定や使用動物数の算出が困難な場合がある。このような場合は予備実験を行うなどして適切と考えられる方法と使用動物数を検討したうえで、本実験の計画を立案するように努める。また、

実験動物が逃れることのできない激しい苦痛を伴う実験計画に関しては、動物実験責任者は文献検索等により代替法の有無を検索する必要がある。代替法がなく、研究上の理由により麻酔、鎮痛等の苦痛軽減処置が困難と思われる場合は、必要に応じて実験動物の専門家から助言を得ることが望ましい。このような必要性は動物実験計画書に明記しなければならない。

動物実験計画書記入要領

1. 整理の都合上、年月日は西暦で記入して下さい。
2. 実験承認有効期限は、承認された日からその年度の年度末(3月31日)までです。実験承認期間を越えるものについては、1年毎に動物実験計画書(更新)を提出して下さい。
3. 「動物実験の目的」の項には、直接的な目的だけでなく、1) その動物実験がなぜ必要か、2) 他の方法で代替できないのか、3) その動物実験の成果によって、どのような社会的貢献ができるか等についても記載して下さい。
4. 「実験計画と方法」の項には、適正な審査を行うために、以下の点を考慮して記入して下さい。

(実験方法について)

- ・薬物投与実験の場合、投与経路と用量、投与期間中に動物に異常が見られた際の安楽死処置
- ・手術を施す場合、術中・術後に動物に異常が見られた際の安楽死処置、術後の患部の消毒方法
- ・強制水泳実験の場合、動物が溺れた際の処置

(使用動物数の検討)

- ・匹数をどのようにして設定したのか、必要数の根拠
- ・使用動物の総匹数が申請書1ページ目の使用匹数と一致していることを確認

(動物の苦痛軽減方法)

- ・術中の麻酔(用量を記入)等の苦痛の軽減方法
- ・実験終了時の安楽死方法

(逃亡防止処置)

実験や解剖等により飼育室から他室へ動物を移動する際、結束ベルト等でケージのフタが容易に開かない処置を講ずることを記入

(遺伝子改変動物の場合)

遺伝子組換え実験申請中もしくは申請済の有無

5. 想定される苦痛のカテゴリーは、S c i e n t i s t s C e n t e r f o r
A n i m a l W e l f a r e (S C A W) の分類に準拠している。苦痛のカテ
グリーがEに該当する実験については、「動物実験計画書」に加えて、動物実験の必
要性について詳細に明記した「動物実験計画説明書」（様式なし）を提出して下さ
い。苦痛の分類の詳細は「実験動物処置の苦痛分類に関する解説」（平成16年国
立大学法人動物実験施設協議会）を参照下さい。

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~doubutu/kokudou/rinri/paincategory.html>

以 上